

令和4年度東北大学学生評議員懇談会（第二回）での意見交換について

令和5年3月17日（金）に、今年度第二回となる東北大学学生評議員懇談会を開催しました。学生評議員と総長をはじめとする教育研究評議会評議員が出席し、学生評議員から寄せられた意見への対応状況について意見交換を行いました。以下に、その概要をご紹介します。

（●：学生評議員　○：教育研究評議会評議員）

【東北大アプリについて】

- スマホ版とパソコン版、どちらにも対応してもらえるとありがたい。
- 図書館の混雑状況、勉強スペースの空き状況等をオンラインで確認できるとありがたい。
- 学生評議員という仕組みのほかに、改善点などを容易に投稿できるような仕組みがあるといい。
- ご意見ありがとうございます。アプリの形式、そして搭載する機能の検討を現在進めているところです。皆さんの声をさらに反映できるよう、引き続き検討して参りますので、今後もしご意見をいただくと幸いです。

【図書館の学習室について】

- 図書館のグループ学習室について、当分の間は原則一名で利用が可能ということになっている。グループ学習という形での利用を再開する予定は現状あるか。
- 東北大学として、4月1日からBCPレベルを0へ移行します。規制の緩和に伴い、図書館の利用方法についても変更して行く予定です。

（補足）学生の皆様からオンライン授業や面接等のために発話できる個室の使用に関する要望が多くあることから、1名での利用（発話するオンライン授業、面接）としています。そのためグループ学習についてはフレキシブルワークエリアをご案内しています。グループ使用できる個室については、オンライン環境の需要とのバランスを考慮し、引き続き対応を検討してまいります。

【修士学生への経済支援について】

- 修士段階での経済支援はあまり無いように思う。修士学生への支援がなされるとよりよくなるのではないか。
- 修士課程の学生への支援は非常に重要なことと認識しています。経済的な問題あるいは経済的支援が少ないことを理由にその道を断念することがないよう、経済支援を進めているところですので、ぜひ皆さんに活用いただければと思います。

【大学から行う企業への投資について】

- アメリカの有名大学では、GAF A などの大企業へ学生を送り出すことで将来の投資をしていると聞く。将来的に大学を大きくしていくのであれば、優秀な学生を企業へ送り出すことも戦略の一つだと考える。
- 東北大学には、スタートアップに資金を出すプログラムがあります。実際に事業となる場合には、投資を受けることも可能であり、これからさらに発展させていこうとしているところです。会社に就職する、または研究者になること以外にも選択肢があることを皆さんに伝えられるよう、周知を続けてまいります。

【地元東北に根差した大学運営について】

- 東北大学は仙台にある大学として長く東北の地域に根ざしていることから、地元の高校との連携や共同で行う事業も拡充して貰えればと思う。
- 大学として東北の未来を背負っているという姿勢を持っており、宮城県をはじめ東北六県の高校と深いつながりを作っています。また、復興支援については東北大学の大きなミッションであるため、被災地の自治体と様々な取り組みを行っています。

以上